

赤い羽根 心がつながる 支えあい…

赤い羽根共同募金運動

10月1日から、全国一斉にスタート！



「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組まれてきた赤い羽根共同募金運動。みなさんの“優しさ”や“思いやり”を形にして、一番身近なところに活用しています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、今年もみなさんのご協力をお願いします。

募金のしくみ

自治区の協力を得て、1世帯あたり500円を目安に、協力をお願いします。

企業や官公庁、福祉施設等のみなさんにご協力をいただいています。



駅前やスーパーの出入口、まつり岡垣会場等で募金への協力を呼びかけています。

①集める

戸別募金

法人募金

職域募金

学校募金

街頭募金

その他

募金のしくみ

どのように集められる？

民生委員の協力を得て、毎年約300の法人や事業所から募金が寄せられています。

福祉教育の一環として、ポスターや募金箱の設置等をお願いします。

岡垣町では、自治区の協力を得て集められる戸別募金や民生委員・児童委員の協力による法人募金・街頭募金などで、みなさんに赤い羽根共同募金運動に参加していた

だいています。(①集める)
みなさんから寄せられた大切な募金は、一度すべてを福岡県共同募金会に納めます。(②納める)
その後、納めた募金額に応じて



寄附金付き自動販売機の設置や募金箱設置をお願いします。



じぶんの町をよくするために、優しさや思いやりを届ける運動として、みなさんの参加をよろしくお願いします。

翌年度に各市町村へ配分されることとなります。(③返ってくる)
配分の内訳として、およそ77%が岡垣町の地域福祉活動に活用される一方、残りは募金運動を推進するために必要な資材の購入、県内の福祉施設や災害等準備金などの広域的な課題を解決する活動に活用されています。
今年度も岡垣町の地域福祉のために、高齢者や障害のある人、ひとり親家庭を支える事業、児童・青少年の福祉などに活用されます。地域の情報を伝えるこの『社協だより』も、共同募金を活用して発行しています。